

中信勢健闘 白熱のプレー タイムス少年サッカー



村松幹君

最優秀選手

市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ大会は2日目の



百瀬颯人君

優秀選手

12日、64チームのトーナメントを勝ち上がった8チームが白熱した戦いを繰り広げた。中信勢の梓川FC、旭町



優勝した篠ノ井ジュニアサッカークラブ



準優勝のアンテロープ塩尻



3位の梓川FC

SSS、塩尻アルマロープ塩尻の百瀬颯人君(11)が選ばれた。準々決勝、準決勝で5得点を奪う活躍を見せたアンテロープの百瀬君は「準優勝は悔しいけれど、最後まで走り切った。賞は頂戴し、歴史の決勝戦の中にもまれに見る好試合だった」とたたえ、これから一生懸命サッカーに打ち込んでほしい」と選手たちと話した。篠ノ井の村松君は「みんなのチームワークで優勝できた」と誇らしげに語った。

懸命サッカーに打ち込んでほしい」と選手たちと話した。

鉢盛中・蜂谷君 決勝で主審

3級の資格持つ3年生

決勝・準決勝では、審判員3級の資格を持つ地元の鉢盛中学校3年・蜂谷優君(15)が主審の大役を担った。公式戦では初めて主審を務め、サッカー少年たちと共にピッチを走りながら一つのプレーに目を光らせた。

幼いころからサッカーを始め、中学でもサッカー部に所属した。審判の資格を取ったのは、試合で反則が多かった自分のプレーを省みたことがきっかけだ。「一からルールを自分たにたき込み、仲間の力になった」と話し、今年から本格的にU-15(15歳以下)の練習試合などで審判を務めている。決勝前には緊張感をにじませつつ「アルウィンで審判ができるなんて光栄なこと。勇気と自信を持って選手たちが安全に試合できるよう努めたい」と力を込めていた。



ちの成長に期待を寄せていた。

結果は次の通り。

(荘 隆子)

▽準々決勝	梓川 1-0 旭町
篠ノ井 2-0 塩尻アルマ	マール
アンテロープ塩尻 2-0 松本エス	ティエロ
リガール 2-1 長野ガール	フ
上田	
▽準決勝	篠ノ井 1-0 梓川
アンテロープ塩尻 5-0 上田	
▽3位決定戦	梓川 1-0 上田
▽決勝	篠ノ井 2-1 アンテロープ塩尻